

貢献内容：羽田・成田空港におけるRECATの試行（2020.3～予定）

研究機関名：宇宙航空研究開発機構（JAXA）、電子航法研究所（ENRI）

【実現施策の概要】

○後方乱気流区分を7区分に再分類するRECAT*を羽田・成田空港に導入し、より効率的な運航を実現する

		後続機					単位NM	
		A	B	C	D	E	F	G
先行機	A		4	5	5	6	6	8
	B		3	4	4	5	5	7
	C				3	3.5	3.5	6
	D							4
	E	青枠：現行間隔より短い						4
	F	赤枠：現行間隔より長い						
	G							

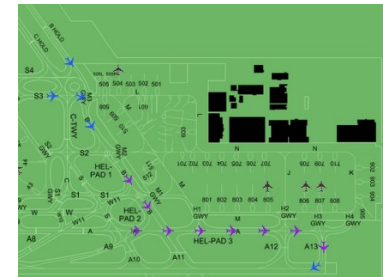
*Re-categorization

RECATで適用されるレーダー間隔

- 航空機を重量、主翼スパンにより7区分に細分化（従来は4区分）
- 大半の組み合わせにおいて、従来より間隔が短縮される

【成果還元の内容】

○RECATの安全性や導入効果が確認され、2020年度後半のICAO基準適用に先駆け、羽田・成田空港における試行運用が可能となった（2019年度 試行運用開始予定）



- ① 羽田空港における後方乱気流観測（海上での乱気流の減衰特性を確認）
- ② 成田空港における出発便の待ち時間短縮効果の評価例

開発技術の反映内容

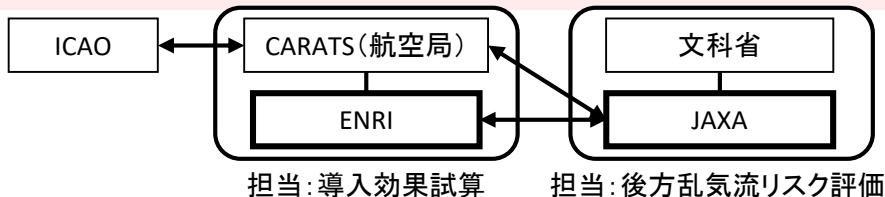
- ① JAXA：後方乱気流の観測・解析等により、RECATの安全性（後方乱気流への遭遇リスクの観点）を確認
- ② ENRI：計算機による運航模擬解析により、出発便の待ち時間短縮や到着便の遅延早期解消等のRECAT導入効果を定量的に確認

【WEB参照先】

- ① <http://www.aero.jaxa.jp/research/star/dreams/weatherinfo/>
- ② https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【研究の実施概要】 2018～2019年度

- ・設定課題・目標 後方乱気流リスク評価（JAXA）
導入効果試算（ENRI）
- ・研究テーマ名 【気象情報技術成果活用促進事業（JAXA：又吉 直樹、吉川 栄一）】
【新たな後方乱気流管制方式の設定に関わる安全性評価と気象・運航データベースの構築ほか（ENRI：吉原 貴之）】
- ・研究実施体制 下記参照。JAXA/ENRI実施分はそれぞれの運営費交付金による事業



【問合せ先】

（施策に関する問合せ） CARATS事務局
国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111（内線51104・51106）
（研究に関する問合せ） 宇宙航空研究開発機構、海上・港湾・航空技術研究所
宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 広報 pr-inquiry@chofu.jaxa.jp
電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432